

学校評価アンケート 結果

全体集計		質問の趣旨							
努力目標	番号	児童への質問	集計平均	保護者／家庭・地域での様子	集計平均	保護者／学校での様子	集計平均	教職員／子どもの様子	集計平均
学習指導の改善・充実	1	学習の理解	3.67	学習の理解	3.27	わかりやすい授業	3.55	学習内容の理解	3.57
	2	体験や活動、学びの実感	3.51			体験や活動の充実	3.72	体験や活動、学びの実感	3.43
	3	月10冊以上の読書	3.27	読書の習慣(毎月10冊)	2.86			月10冊以上の読書	3.86
	4	家庭学習や宿題	3.57	家庭学習や宿題を行う習慣	3.25			家庭学習や宿題	3.14
	5	自分の思いの表現	2.96			表現力の育成	3.55	自分の思いの表現	3.71
生活指導の充実	6	学校が楽しい	3.89	学校に楽しく通っている	3.43	個の理解と個性の伸長	3.45	楽しみな学校	3.29
	7	満点あいさつ	2.96	あいさつができています	3.20			満点あいさつ	3.29
	8	早ね・早起き・朝ごはん	3.29	早ね・早起き・朝ごはん	3.25			早ね・早起き・朝ごはん	3.43
	9	ゲームやテレビは1日2時間	2.65	メディアコントロールの意識	2.64			メディアコントロールの意識	3.36
	10	時間やルール、マナー	3.33	時間やルール、マナー	3.17			時間やルール、マナー	3.29
	11	整理・整頓	3.04	整理・整頓	2.79			整理・整頓	3.29
	12	先生への信頼	3.62			相談のしやすさ	3.48	相談のしやすさ	3.29
体健力康の・向安全	13	給食のマナー、感謝	3.50	食事のマナー、感謝	3.17			給食のマナー、感謝	3.14
	14	健康・安全への関心	3.70	健康・安全への関心	3.22	安心・安全に配慮した環境整備	3.46	安心・安全に配慮した環境整備	3.14
	15	体力づくり	3.49			たくましく健やかな体の育成	3.35	たくましく健やかな体の育成	3.57
教道徳の・推人進権	16	思いやりのある行動	3.61	生命尊重と思いやりの気持ち	3.37	道徳性の涵養	3.27	道徳性の涵養	3.43
	17	夢や目標に向けた努力	3.74	夢や目標に向けた努力	3.19	児童の特性に配慮した支援と指導計画	3.40	児童の特性に配慮した支援と指導計画	3.29
	18	大島への郷土愛	3.64	大島への郷土愛	3.38			大島への郷土愛	3.14
環境推進教育	19	環境の美化や整備	3.74			環境の美化や整備	3.58	環境の美化や整備	3.43
	20	ボランティア活動の充実	3.46			ボランティア活動の充実	3.54	ボランティア活動の充実	3.00
家庭・地域との連携	21	地域行事や活動への参加	3.66	地域行事や活動への参加	3.51	家庭・地域との連携	3.43	家庭・地域との連携	3.14

【学習指導の改善・充実について】
<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導に関する総平均（児童・保護者・教職員の全項目の平均）は3.43（昨年度3.40）です。 ・大島小児童の授業態度は大変まじめで落ち着いています。よって、今年度も全体的に良好な結果となっています。 ・自分の思いや気持ちを相手に伝えるといった、表現力について児童の数値2.96（昨年度3.47）と下がっています。一方、保護者（3.54→3.55）と教職員（3.25→3.71）は上がっているので、児童が実感し、自信につながっていないことがわかります。始業式や終業式の挨拶など、良い発表も見られますので、さらに自信として実感できるまで伸ばす必要があります。 ・読書については、児童が3.27の評価に対して、保護者からは2.86と差があります。昨年度までの反省を踏まえ、読書の質の向上を目指し、今年度は「いい本ミック！」や「おうちほっこり絵本時間」にも新たに取り組みました。メディアに触れる時間との関連もあり、保護者からも「家で読者する姿が見られない。」という声もいただきました。この問題をメディアを含めた家庭での過ごし方全体の問題ととらえ、継続的に取り組んでいきます。
【生活指導の充実について】
<ul style="list-style-type: none"> ・生活指導関係の総平均は3.23（昨年度3.34）です。 ・なかでも児童の「毎日、学校が楽しい。」3.89、保護者の「子供が学校を楽しみに登校できるように努めている。」3.43と比較的高い数値にあることは、教職員も喜びを感じますが、保護者の意見を見ると個人差もあるので、個別にきめ細かく対応していく必要があります。 ・今年度からスクールカウンセラーを2か月に1回訪問していただき、児童や保護者の相談に対してきめ細かく対応しています。毎回予約がいっぱいになるなど、需要も多く、相談をした保護者の方にも相談して良かったという声が多く聞かれます。 ・「家庭や地域でも満点挨拶ができる。」については、児童（3.18→2.96）、保護者（3.30→3.20）が下がっています。地域の方にも「挨拶名人」を選んでいただくなど、挨拶を広げる努力をしていますが、民生児童委員会などで地域の方の感想を聞くと、個人差もあり、十分定着しているとは言えない状況にありますので、さらなる継続が必要です。 ・自宅に帰ってから、児童の「ゲーム、テレビ2時間以内」2.65、保護者の「メディアコントロールを意識した生活」2.64など、メディアとの付き合い方に関連する項目が4年連続で低めです。学校保健委員会においても、メディアに関する講演会を3年連続で開催したり、メディコンチャレンジなど小中で協力した取組を行ったりしていますが、成果としては表れておらず、意識改革も十分でないことがわかります。大島小のみならず、児童生徒をとりまく大きな課題です。
【健康・安全、体力の向上について】
<ul style="list-style-type: none"> ・健康・安全、体力関係の総平均は3.38（昨年度3.49）でした。 ・朝ランニングは4月当初から全校児童で、水仙ロードフェスティバルなどを目標に年間を通じて取り組みましたが、開催時期にインフルエンザの影響で大会は中止になりました。「継続は力なり」の言葉を信じ、来年度も教師と共に取り組んでいきます。 ・児童の「正しいマナーで、感謝の気持ちをもって、給食を食べている。」3.50で、比較的高い数値ですが、保護者や教職員の評価がやや低くなっています。食育・マナーに関しても、週2回栄養教諭が来校し指導に力を入れています。メニューについても、地産地消を考慮しながら、他の地域以上に充実したものが並んでおり、児童も給食を楽しみにしています。御家庭におかれましても、「マナー」と「感謝」をキーワードに御指導願います。
【道徳・人権教育の推進について】
<ul style="list-style-type: none"> ・道徳・人権教育関係の総平均は3.40（昨年度3.45）で高い評価になっています。この項目は道徳指導を中心とした人権教育や郷土大島に対するふるさと教育、夢や目標をもって頑張る姿勢についての内容です。今年度もコミュニティスクールを中心に継続的に取り組んできました。その一つにふるさとを県全体と広く捉え、普段会えない人物に学ぶ機会を得ました。具体的には、映画監督金沢知樹氏や俳優篠原篤氏をお招きしての講演会や交流、地域を題材にした作品募集への積極的参加などです。 ・上記のような「ふるさと教育」に学校全体として取り組んだ結果、児童の「ふるさと大島の人や自然を大切にしたいと思っている。」3.64（昨年度3.72）でここ数年比較的高い数値となっています。また、今年度はコロナ禍も明け、社協や老人介護施設との交流も行い、地域とのWIN-WINの関係を目指し、学校が地域のために出来ることにも取り組みました。引き続き保護者・地域の力を借りながら、自分の将来像を重ねながら、何かの目的へ向かって努力していく姿勢を育てていきます。
【環境教育の推進について】
<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育の推進関係の総平均は3.46（昨年度3.58）でした。恵まれた環境の中、情操面を育てる栽培活動は地域の皆様の長年の御協力も得ながら、貴重な体験ができています。清掃活動については、引き続き「だいき掃除」（だまって、いっしょうけんめい、すばやく、きれいに）を合言葉に取り組み、「学校をきれいにすることを頑張っている。」3.74と昨年度の3.80に続き、高い数値になっており、実践にも結びついています。昨年度数値の低かったボランティア活動については、運動場の環境整備を中心に、朝ランニングの後に継続的に取り組んだ結果、3.15から3.46と数値も高くなっています。より自主的なボランティア活動となると、さらに児童の意識も向上すると思われます。
【家庭・地域との連携について】
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭・地域との連携関係の総平均は3.44（昨年度3.44）でした。学校だよりや学級通信、HPなどで、学校での児童の様子をできるだけ保護者や地域の方にお知らせするように努力しています。児童の「地域の行事や活動に、進んで参加している。」は、3.66と昨年度の3.44より高くなっているのは、コロナ禍も明け、児童も地域行事に積極的に参加したのではないかと推測されます。前にも述べましたが、地域とのWIN-WINの関係を目指し、学校がしてもらうばかりではなく、学校が地域のために出来ることにも力を入れていきます。地域との連携については、交通安全パレードの鼓笛隊やふるさと祭りでの全校合唱など、久しぶりの開催で、児童の頑張る姿に地域からの声援が送られました。各種地域行事についても、児童の積極的な地域行事への参加が見られることを目指していきます。

